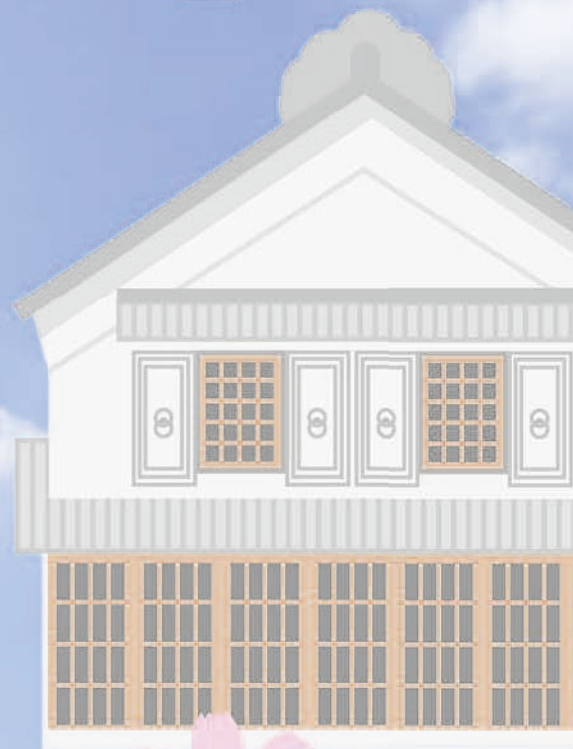




# 栃木市 総合計画 《改訂版》

基本構想 平成 25 年度▶平成 34 年度

基本計画 平成 25 年度▶平成 29 年度





## 市民の皆さまへ

平成22年3月に栃木市、大平町、藤岡町、都賀町の1市3町が合併して誕生した本市は、平成23年10月に西方町との合併、さらに、平成26年4月5日の岩舟町との合併により、当初の目標でもありました1市5町の合併が完了し、新しいまちづくりが始まったところでもあります。

この間、平成24年度には本市の基本ルールとなる栃木市自治基本条例を制定するとともに、平成25年度を初年度として、10年後の目指すべき市の将来像や、その実現のための政策を体系的に示し、市政運営の指針となる栃木市総合計画を策定するなど、市民協働のまちづくりを進めてまいりました。

今般、岩舟地域の新たな地域資源を活かしたまちづくりを進めるため、栃木市総合計画の改訂を行いました。

本計画は、既存の総合計画を基本とし、岩舟町との合併により追加・変更が必要となる箇所を中心に改訂作業に取り組んだところでもあります。

現在、我が国では、官民一体となった人口減少問題への取組みが重要ですが、定住人口の維持・増加対策は本市にとりましても喫緊の課題となっております。

また、市民の一体感は、本市が一つになっていく上で必要不可欠な精神的支柱です。

そこで、栃木市は、そうした課題に対応するため、総合計画に示された基本方針に基づき、限られた行財政資源を有効に活用しながら、本市の将来都市像である「“自然”“歴史”“文化”が息づき“みんな”が笑顔のあったか栃木市」の実現に向け、市民の皆さまとともに全力で取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、ご協力をいただきました皆さま、貴重なご意見をいただきました皆さまに感謝を申し上げます。

平成27年3月

栃木市長 鈴木俊美